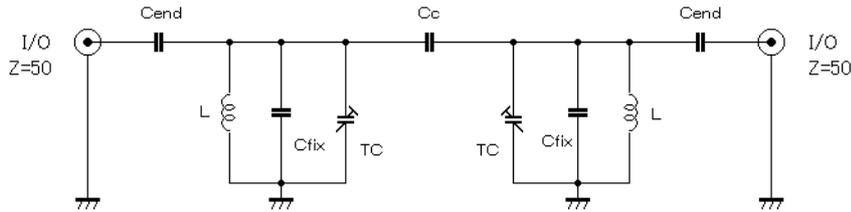


チョークコイルによるバンド別バンドパスフィルターの定数 Ver 2

CYTEC 2015

1) 2ポール型 バンドパス・フィルター回路図

Cend=マッチングコンデンサー、 Cc=結合コンデンサー、 Cfix=追加同調コンデンサー
 TC=セラミックトリマーコンデンサー (max40pF程度)、L=アーキシャルリード型インダクター



TC=セラミックトリマ 40pFmax

バンドパスフィルターの、入出カインピーダンスは、50オームです。

2) アーキシャル・インダクターを使用した、2ポール・バンドパス・フィルター定数表

== 2P-BPF バンド別定数表 CYTEC ==

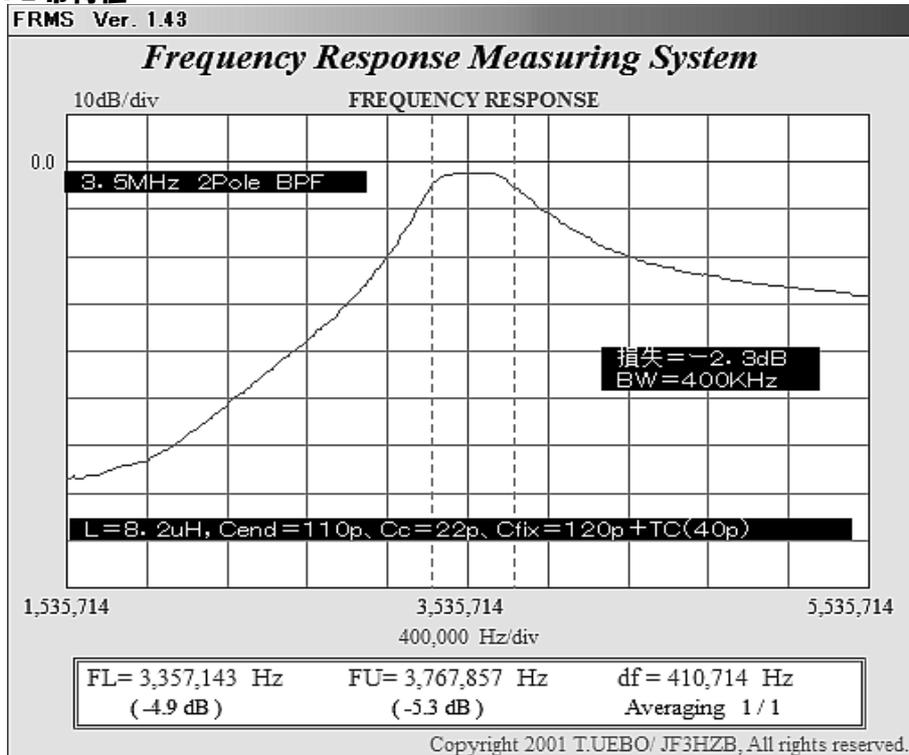
BAND(MHz)	コイル L(uH)	Cend(pF)	Cc(pF)	Cfix(pF)	BW(MHz)	損失 (dB)
3.5	8.2	100+10	22	120	0.4	-2.3
7	4.7	47	8	33	0.73	-2.3
10	2.2	33+10	6+3	47	1	-2
14	1.5	22	4	47	0.96	-2.2
18	1.5	15	2	22	0.95	-2.3
21	1.5	10+6	2	NC	1.5	-1.6
24	1.5	10+2	2	NC	2.5	-2.3
28	1	15	3	NC	3.5	-1.6

注1:通過帯域 BW と、損失値は、一例です。
 注2:10p+6pの表示部は、並列接続を意味します。
 注3:NC は、Cfixをつなぎません。

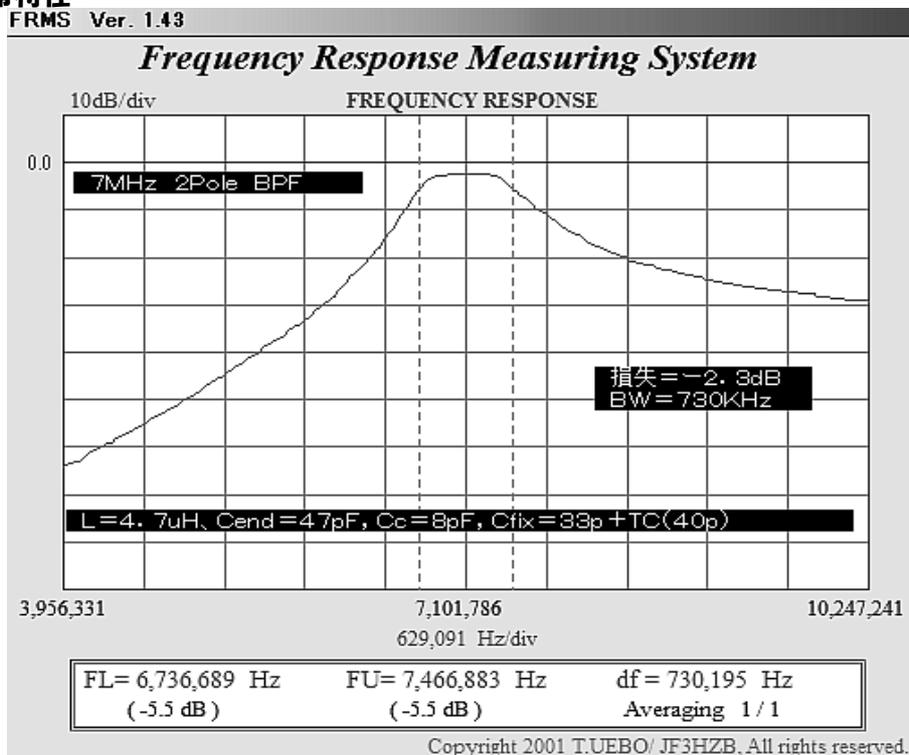
- 注1)アーキシャル型インダクターの値は、一般的に販売されている物の中から、選んであります。
- 注2)コンデンサーで、C+Cの表記は、二つのコンデンサーを、並列接続して使用することです。
- 注3)セラミック・トリマーコンデンサー (TC)は、max40pFの物です。容量が足りない場合は、セラミックコンデンサー (Cfix)を、TCに並列につなぎます。
 Cfixが、NC表示の所は、Cfixのコンデンサーは、使いません。

3) アークシヤル・インダクターを使用した、2ポール・バンドパス・フィルタ参考特性
 (各特性、損失量は、あくまで参考例です。保証値では有りません。)

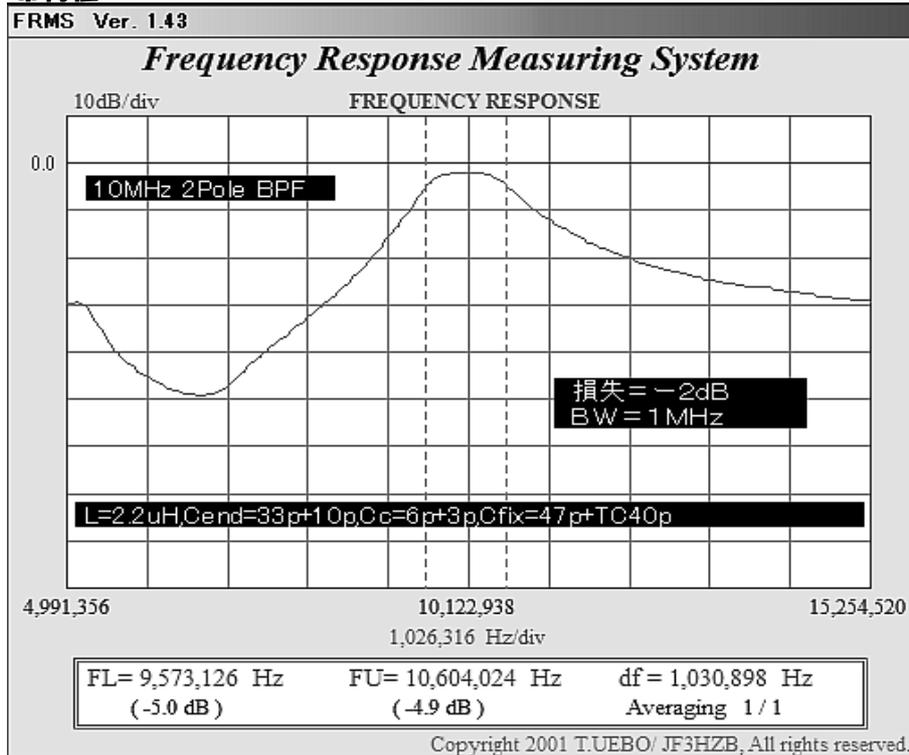
1) 3.5MHz帯特性



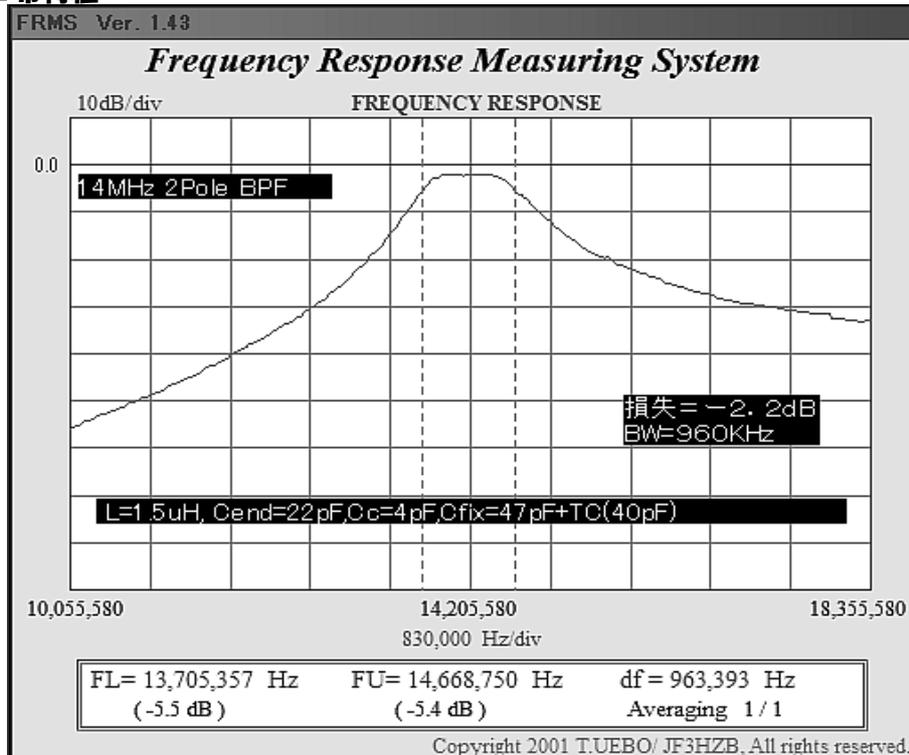
2) 7MHz帯特性



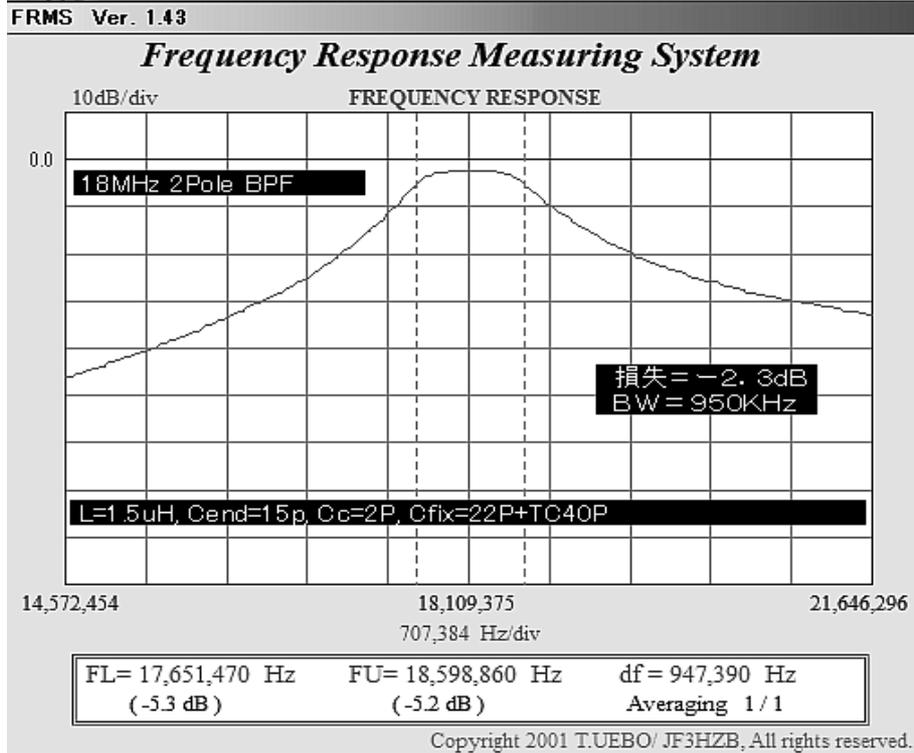
3) 10MHz帯特性



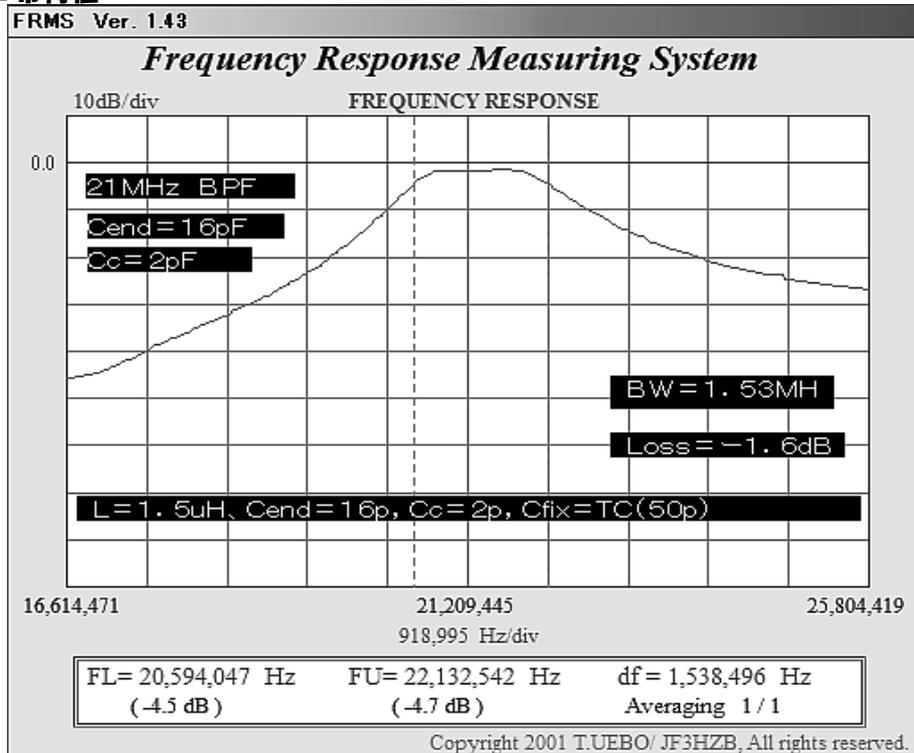
4) 14MHz帯特性



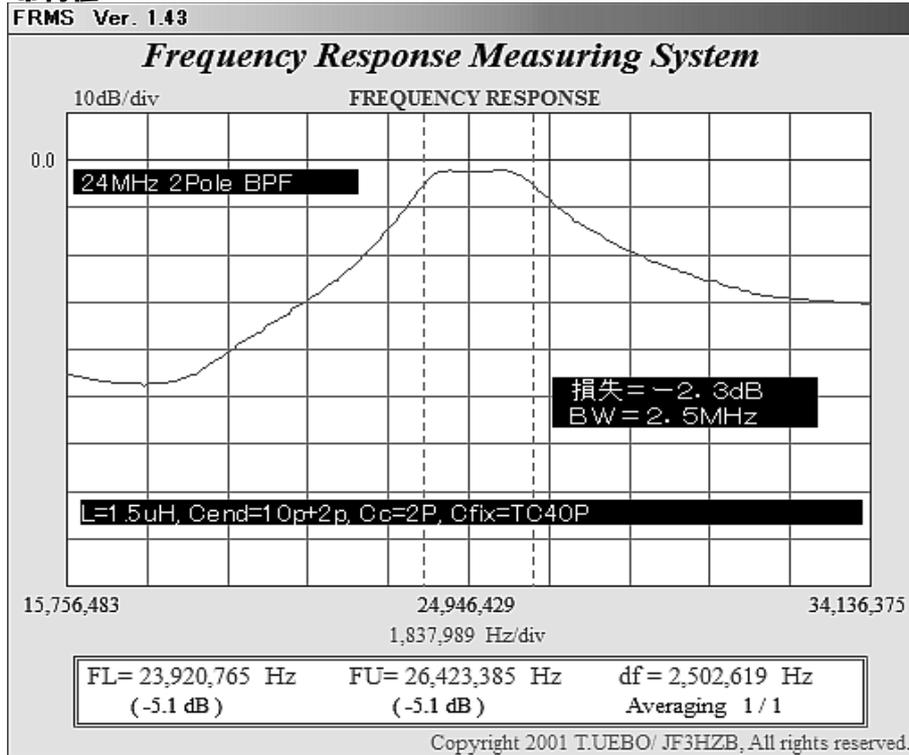
5) 18MHz帯特性



6) 21MHz帯特性



7) 24MHz帯特性



8) 28MHz帯特性

